

生活習慣を改善し、健康で 活力ある生活の実現を

～登別市健康増進計画策定委員会発足～

6月28日(月)、しんた21で『登別市健康増進計画策定委員会』の初会合が開かれました。

同委員会は、平均寿命が延びる一方で、糖尿病や心臓病といった生活習慣病が増えている現状を踏まえ、市民の生活習慣を改善し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりを行うことを目的に、市民や市などの取り組み、具体的な目標を定める『登別市健康増進計画』を策定するために設けられたものです。

この日は、保健医療関係団体や社会福祉団体の代表者、一般公募の市民など委員14人に上野市長から委嘱状を手渡した後、事務局を務める健康推進課から計画の概要や今後の策定スケジュールの説明が行われました。委員会では、今年度中に計画案をまとめ、市に提出する予定です。

計画には、栄養や食生活、運動、たばこなどの項目で健康づくりの目安となる登別独自の具体的な改善目標を設定。期間は10年間とし、5年後をめどに目標の達成度などの中間評価を行うことにしています。

計画案は、市民アンケートや各種団体などが参加するワーキンググループの意見も反映させ、来年3月までにまとめられる予定です。



▲上野市長から委嘱状を受け取る委員

アテネでの活躍を祈って ～佐々木みき選手のオリンピック出場を激励する会～



▶市役所本庁舎正面に掲げられた懸垂幕



6月29日(火)、市は、女子バレーボール日本代表の佐々木みき選手のアテネオリンピック出場を祝う懸垂幕を市役所に掲げました。

佐々木選手は、室蘭市で育ち、登別大谷高校卒業後、Vリーグのダイエーに入団。東洋紡を経て、現在はパイオニアで活躍。2003年のVリーグでは、アタッカーとして最高殊勲選手賞、得点王、ベスト6に選ばれています。

現在、ご両親は幌別町に居住されており、佐々木選手の帰省に合わせて、7月26日(月)に市内のホテルで開かれた激励会では、会場に詰めかけた市民から熱い声援が寄せられていました。

鬼大使としてアメリカで登別をPR ～ジョーダン・グリーンさんが鬼大使に～

7月16日(金)、市内のホテルで市の英語指導助手ジョーダン・グリーンさんの帰国送別会が開かれ、ジョーダンさんに『登別市ふるさと大使(通称:鬼大使)』が委嘱されました。

鬼大使は、首都圏や海外に在住する登別にゆかりのある方に登別のPRをしていただいているもので、ジョーダンさんは45人目、外国人として14人目の鬼大使になりました。

「合気道をはじめ、日本の文化や伝統を学ぶことができ、あっという間の2年間でした」と登別での生活を振り返るジョーダンさんは、7代目の英語指導助手として平成14年7月にアメリカから来日。市内の中学校などで英語を教え、生徒から親しまれていましたが、2年間の契約期間を終え、7月28日(水)に帰国しました。

